＜福島県知事賞＞

税金を納めるってどんなこと？

白河市立東中学校　３年　鈴木　優妃

私達が住んでいる日本の町はどんな所だろうと考えた時に私が思うのは、「安全・綺麗・快適」といった暮らしやすさがある所です。

日本は、道路や街中が綺麗に使いやすく整備されているし、緊急事態が発生すれば救急車や消防車がすぐに駆けつけて私達の安全を守ってくれる素晴らしい国です。どうして日本はこのように素晴らしいといえる国なのでしょうか。それは、国民の一人一人が税金を払っているからなのです。

税金とは、公園や公立病院といった公共施設、災害が起こった時の復旧など、サービスに必要なお金をみんなで出し合うものです。

税金は、自動車税や消費税、道府県民税などと様々な種類に分けられており、その分、払う金額も多くなります。だから、税金を払いたくないという人も少なくないでしょう。ドラマでも、税を滞納する人についてや税は何のためにあるのかを放送しているものがありました。私も、店で物を買う時に消費税も払わなくてはいけないと初めて知った時は、払いたくない気持ちが大きかったです。ですが、こういった、ドラマで放送されているほど税を滞納してしまうのは、私達の生活に大きな悪影響を及ぼすということなのです。

例えば、税金が無かった世界に生まれていたとします。家族が倒れてしまったら救急車を呼ぶのに何万円といったお金がかか

ってしまい、もしかしたらお金がなくて大切な家族の命も救うことができなくなるかもしれません。信号機は動かずに事故が多発してしまうし、街もゴミが溢れて快適に過ごすなんて夢のような出来事になってしまいます。

みなさんは、税金がある世界、税金が無い世界ではどちらが良いと考えますか。私は税金がある世界が良いと考えています。私がこのように考えるようになったきっかけは、税についての授業を受けたことや生活する中で感じたことなどたくさんあります。ですが、一番のきっかけは祖母でした。

私の祖母は、毎日元気で笑顔も絶やさない、家族のことをとても大切に思っている人でした。私も毎日祖母に元気をもらっていて本当に大好きでした。ですが、ある日の夜、突然祖母が倒れた時は、どうしていいかも分からず、ただずっと泣いていました。そうしていたら救急車が来て、救急隊の方達が祖母の容態を確認し、助けてくれました。私はその時、神様が来てくれたような感覚で、なぜか、絶対に祖母を助けてくれるような安心感が湧いてきたのです。救急隊の方達が来てくれるだけでこんなに安心するものなのだと実感しました。これは、国民全員が税を払っているから起こる事なのだと分かった経験でした。

皆さんが日々払っている税金は、いつも知らないどこかで誰かを助け、支えています。税金を払うということは、国民全員でお互いを支え合うということです。税金を前向きな気持ちで納める人が増えるよう願っています。